

株主の皆様へ

2020年度(第126期)のご報告
2020年4月1日から2021年3月31日まで

今日を支える、明日を変える。



タキロンシーアイ株式会社
証券コード 4215

CONTENTS

- トップメッセージ
- 業績ハイライト/セグメント別の概況
- トピックス① 新中期経営計画
- トピックス② 脱炭素・気候変動対応
- トピックス③ 2021年度 企業広告展開について
- トピックス④ 新製品
- 株主メモ

創造的進化で地球の未来に確かな「安心」と「心地よさ」を

事業の概況

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

当連結会計年度(2020年4月1日～2021年3月31日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けるなか、社会経済活動のレベルを引き上げつつ持ち直しに向かっておりますが、感染の再拡大により先行きについては不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは中期経営計画[Good chemistry Good growth 2020]の最終年度を迎え統合効果の最大化とグループ全体の成長力、収益力を強化するための施策を実行し、今後の着実な成長に向けた体制整備に注力してまいりました。これらの結果、当連結会計年度の経営成績につきましては、売上高は1,344億7千万円(前年同期比3.6%減)、営業利益は85億1千1百万円(前年同期比15.4%増)、経常利益は88億7百万円(前年同期比15.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度に当社連結子会社における固定資産の譲渡による特別利益を計上した反動があり53億3千2百万円(前年同期比59.3%減)となりました。



グループ企業理念と長期ビジョン

当社グループは、これからも社会に信頼され必要とされる企業グループを目指し、理念体系を「グループ企業理念」として再構築しました。新しい「グループ企業理念」は、日々の事業活動の中で実践し、目標として追い求める【使命】と、その達成を支える【実現したい企業文化】の2つから構成されています。この理念のもと、当社グループが未来に向けて目指すべき10年後の姿【タキロンシーアイ2030ビジョン】を掲げ、誰もが安心して暮らせる地球の未来を実現するために培ってきた技術と知恵をもって、今日の暮らしを支え、明日の社会を変えていきます。

グループ企業理念

使命

人と地球に
やさしい未来を
創造する

実現したい企業文化

重ねていく誇りと変革する勇気

使命

これまでに磨いてきた様々な経営資源を通じて、人びとの暮らしと地球環境に対し責任と役割を果たし続けるということ。1919年の創立から、今日の暮らしを支え、明日の社会を変えてきたタキロンシーアイグループは、これからも「安心と心地よさ」という価値を未来に向けて創造する企業グループでありたいと考えます。

実現したい企業文化

使命を実現するために備えるべき大切なもの。100年を超えて技術を磨き、信頼を積み重ねてきたことを私たちの「誇り」としつつも、現状に満足せず、自らの変革をいとわず、果敢に挑戦する「勇気」を常に持ち続けることを企業文化として育んでいきます。

新中期経営計画

【タキロンシーアイ2030ビジョン】実現のために何をすべきか。当社グループは、2021年度を初年度とするPhase1として、同ビジョンにおける長期目標から直近3年間で到達すべき状態にバックキャストする手法で新中期経営計画「変革への決意 Commit to Transformation 2023(CX2023)」を策定しました。

CX2023では6つの重点実施項目を設定し、すでに変革を始動しています。そして、創造的進化によりこれからも「安心」と「心地よさ」をとどけていける企業グループとなれるよう、企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

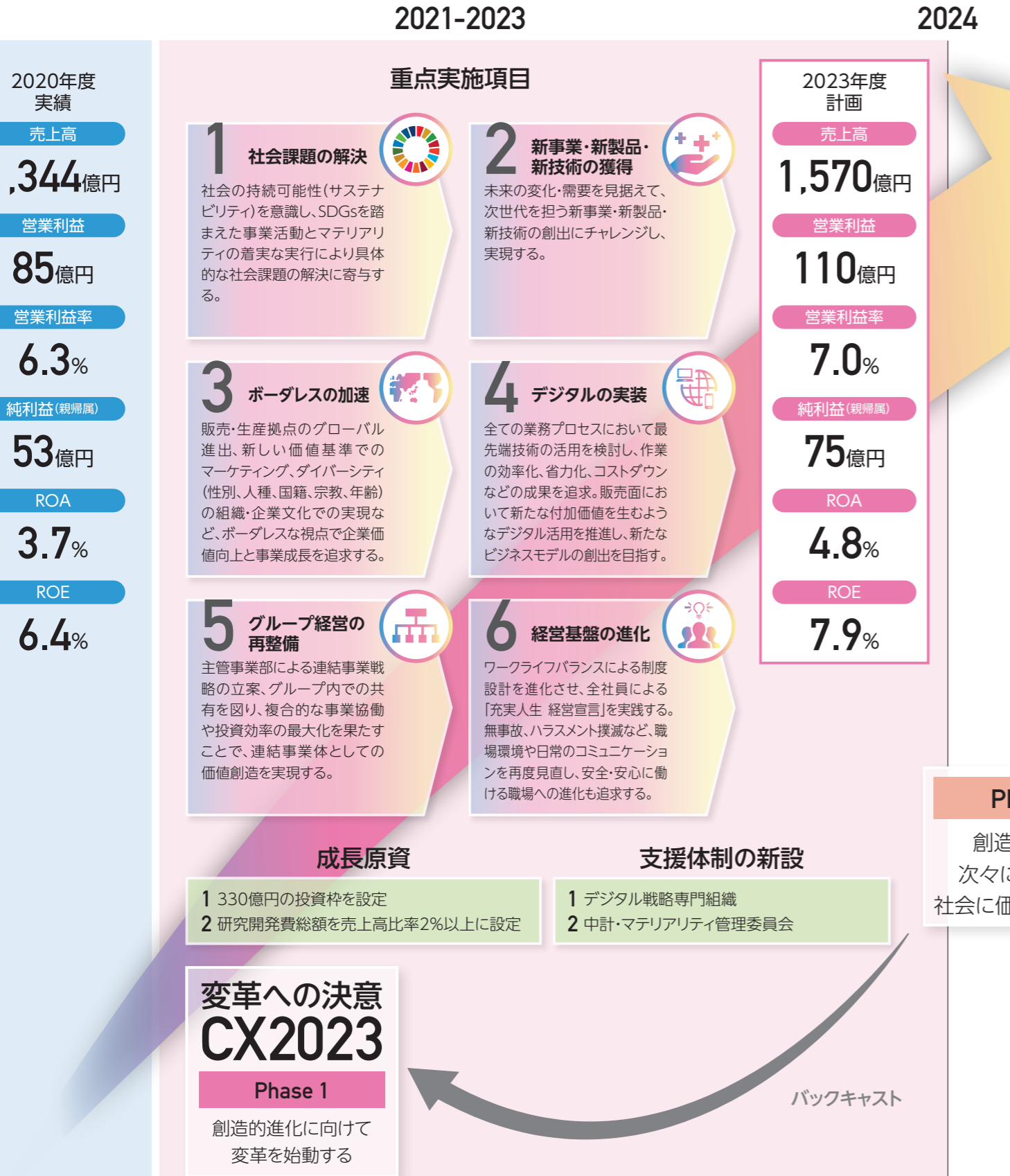
代表取締役社長

齋藤 一也

変革への決意 Commit to Transformation 2023(CX2023)

全グループの一体感を醸成し、企業価値向上を目指した「変革とチャレンジ」

CX2023達成への具体的な施策として6つの重点実施項目を定め、それらの着実な実行のために、2つの成長原資を設定、2つの支援体制を新設しました。成長原資は、M&Aやグローバル化に加え、重点実施項目の1番目に掲げた「社会課題の解決」を強力に推進するため、3Rや再生エネルギー、環境配慮型製品の開発、脱炭素や気候変動対応などの環境分野へも積極的に投資を行います。そして、新設した支援体制でのバックアップにより、中期経営計画達成を確実に推し進めてまいります。



タキロンシーアイ 2030ビジョン

創造的進化で地球の未来に確かな「安心」と「心地よさ」とどける企業グループ



2027

Phase 3
創造的進化の持続を企業文化として根付かせる

Phase 2
創造的進化を次々に実現させ、社会に価値を提供する

バックキャスト

バックキャスト

新中期経営計画「変革への決意 CX2023」については、当社オフィシャルホームページのIR情報/中期経営計画ページで詳しくご説明しています。ぜひご覧ください。

<https://www.takiron-ci.co.jp/lib/pdf/ir/2023.pdf>

新グループ会社(2021年3月25日より)

マーベリックパートナーズ株式会社

同社はOA機器、家電製品等の分野においてリサイクル等の循環型社会を目指した樹脂コンパウンド(樹脂成形用混合材料)の開発に取り組んでおり、当社グループが目指す環境配慮型製品の開発など環境問題を中心とした社会課題の解決への寄与が期待できる高い技術力を備えています。また、当社グループの既存事業においてもコンパウンド設計技術を活かし、各種製品のさらなる高機能化、品質の向上を図ります。

- 開発事例**
- OA機器向け難燃樹脂コンパウンド
 - 家電製品向け防塵防汚樹脂コンパウンド
 - 3Dプリンタ用特殊フィラメント
 - リサイクルPET/ABSコンパウンド

グループ事業再編(2021年4月1日より)

タキロンシーアイプラス株式会社

採光建材事業関連の販売体制や生産体制の集約等により進めてきた経営資源の全体最適化の集大成として、ホームセンター向けの営業を担ってきたタキロンKCホームインブルーメント(株)に、当社の住設建材事業部建材分野の流通販売事業を集約し、新たな販売会社としてタキロンシーアイプラス(株)を発足しました。商品提案力と営業効率を向上させ、市場競争力を強化してまいります。

タキロンシーアイシビル株式会社

当社グループの土木・産業資材関連事業をダイプラ(株)に集約し、社名をタキロンシーアイシビル(株)に変更しました。経営資源の集約と効率化により、スピード感のある経営とお客様への提案力強化を実現し「防水・止水・導水のトータルソリューション」で新たな価値の提供を目指します。

当社グループでは、深刻化する社会課題・環境問題を鑑み一層の取り組みを強化するため、重点実施項目の1番目に「社会課題の解決」を定めました。脱炭素・気候変動対応は社会全体での取り組みが必要な重要課題です。社会の持続性を意識し、事業活動を通じた社会課題解決に取り組んでまいります。

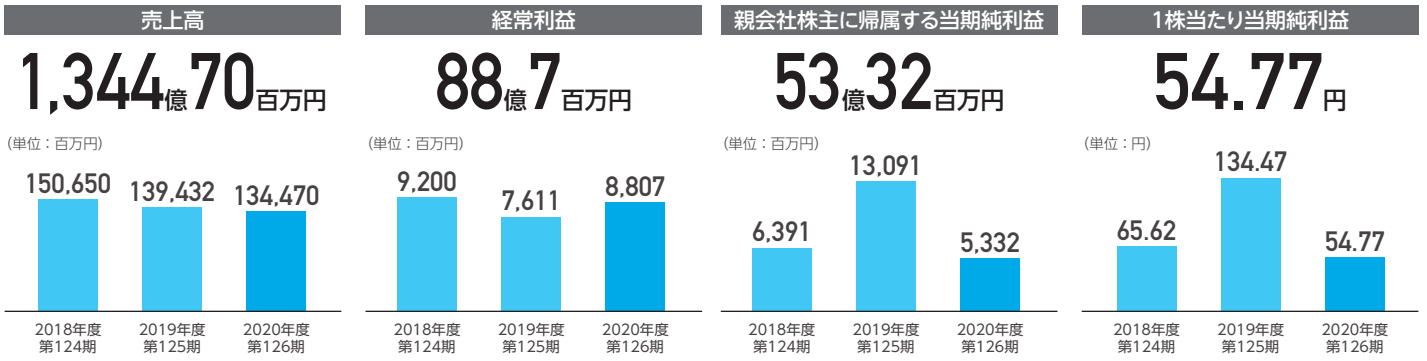
●脱炭素対応

- CO₂排出量削減の目標設定(2018年度比較)**
 - ・2023年度 13%削減
 - ・2030年度 30%削減
- 削減施策への取り組み(2021年度～グループ含む各工場対象)**
 - ① 太陽光パネルの設置によるCO₂削減
 - ② 省エネ施策の実施
 - ③ 再生電力の導入
- 脱炭素イニシアチブへの対応**
SBT認定の取得(2023年度申請予定)
*SBT:パリ協定が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標。

●気候変動対応

- TCFD提言への賛同表明(2021年5月)**
気候変動がもたらすリスクと機会の特定、分析等に係るガバナンス体制の構築
 - 対応施策(2021年度～)**
 - ① 気候変動に伴う事業上のリスクと機会の評価
 - ② 気候シナリオ等を考慮した事業インパクトの定性評価
 - ③ 財務影響による定量評価、リスクマネジメントを含む対応策の定義
- *TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース):気候変動がもたらす「リスク」と「機会」の財務的影響の開示を企業等に促すための枠組み。

業績ハイライト



セグメント別の概況 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

建築資材事業セグメント

事業の概況
(住設建材事業部、床・建築事業部)

- 住設建材事業は、一部巣ごもり需要により増収要因が生じましたが、新設住宅着工戸数の低迷やコロナ禍による工物件の減少が影響し減収
- 床・建築事業の床部門は、コロナ禍によるマンション改修工事案件の中止、延期の影響により減収、一方で減災対策製品は止水板が伸長
- 建築部門は、コロナ禍により国内の建築物向けは大幅な落ち込み、海外向けが一部回復基調だが、北米、中国市場の回復がみられず減収

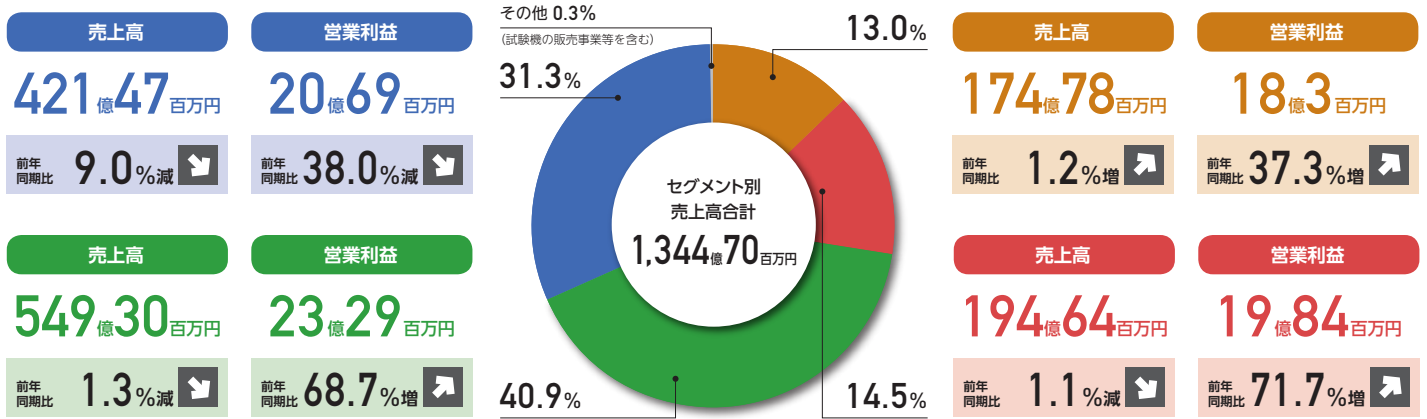
「脱炭素・温暖化問題に挑む！」
ポリカーボネート(樹脂)製 高断熱中空パネル「ルメウォール」
自然光を採り入れながら、開口部からの熱損失を大幅に抑制し、照明・空調のエネルギー負荷を効果的に抑える「低炭素建築」を実現します。

高機能材事業セグメント

事業の概況
(高機能材事業部)

- 主力の工業用プレートは、半導体製造設備の需要拡大を受け急回復、PETプレートも飛沫防止パネル向けを中心に好調を維持
- 通信機器やデータセンター設備に使われるナノ材料は旺盛な需要に牽引され伸長
- 光学用ポリカーボネートシート、眼鏡フレーム材料は回復の兆しはあるが、コロナ禍により減収

「デジタル化に欠かせない！」
火災安全材料「FMプレート」
半導体製造工場のクリーンルームで使用する材料に要求される難燃性能基準である、FM4910規格に適合する「FMプレート」は、最新の半導体製造装置に幅広く採用されています。



環境資材事業セグメント

事業の概況
(アグリ事業部、インフラマテリアル事業部)

- アグリ事業は、ハウス用資材で値上げ前の駆け込み需要があったが、前年風害需要の反動やコロナ禍による買い控え、物件の遅延により農業用フィルム・ハウス関連資材ともに減収
- インフラマテリアル事業は、コロナ禍と大雪による工事遅延が続き、わずかに減収
災害復興需要や更生管事業は堅調に推移し、ハウエル管の大型物件の販売好調により利益は大きく伸長

「陸の豊さを守る。」
ポリエチレン製遮水シート「ビノメタロバリアー」
機械的強度や耐薬品性、柔軟性、そして施工性に優れているビノメタロバリアーは、日本全国の一般産業廃棄物最終処分場の遮水層として使用されています。

機能フィルム事業セグメント

事業の概況
(ボンセット事業部、サンジップ事業部)

- ボンセット事業は、シュリンクフィルムが国内販売および欧州市場で苦戦、北米市場のコロナ禍における巣ごもり需要はあるが減収
- サンジップ事業は、ジッパーテープが日本国内、アジア、欧米を中心に堅調に推移し増収

「人と地球にやさしさを。」
セルロース繊維配合「紙製ジッパー(サンジップシリーズ)」
セルロース繊維を51%以上高配合することにより、CO₂削減に貢献し「紙マーク」表記も可能になるセルロースコンパウンドの開発を進めており、まずはジッパーテープの製品化を予定しています。

トピックス③ 2021年度 企業広告展開について

当社グループは、新たに社会課題解決をテーマにした企業広告を制作しました。地球規模の社会課題(出題)に対してタキロンシーアイは製品で解答(解決)します。「出題者、地球。素材で答える、使命がある。」には、地球環境に対し責任と役割を果たし続けるという強いメッセージがこめられています。

また、2015年より競泳日本代表のオフィシャルスポンサーをつとめており「トビウオジャパン」を起用した広告活動を行っています。2021年度も引き続き水泳界の振興を応援してまいります。

これらの広告は、JR大阪駅、JR品川駅、タキロンシーアイグループ拠点エントランス、新聞紙面等で展開します。

◆主な広告デザイン

出題者、地球。

【世界の食料問題】
 飢餓人口 約6億9,000万人
 栄養不足蔓延率 8.9%

素材で答える、使命がある。

タキロンシーアイグループ

自分を変える気持は、あるが
 恐れることなく
 挑み続けるものだけが、
 世界を驚かせることができる。

波をたてる。

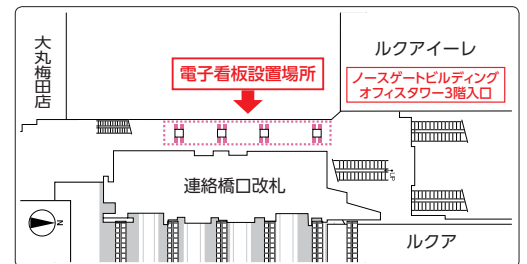
タキロンシーアイ

◆主な実施広告

- JR大阪駅 橋上自由通路 電子看板広告 (2021年6月より)

設置場所は、大阪本社のあるノースゲートビルディングに近接した場所であり、連絡通路や待ち合わせ場所としても利用頻度の高い場所です。

お近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



- JR品川駅 自由通路 中央改札口横 サインボード広告
- 阪神甲子園球場 一塁側ベンチ横 社名広告
- 日本経済新聞 社名広告

トピックス④ 新製品

抗菌・抗ウイルスタイプ「ベルビアン」「ネオグリーン」

粘着剤付き不燃化粧フィルム「ベルビアン」と防滑性ビニル床シート「ネオグリーン」について、抗菌・抗ウイルス性能を付与したタイプを4月に発売しました。生活環境の変化における衛生対応のニーズが高まる中、トイレ・水回りを中心とした屋内向けに、従来の優れた性能はそのままに、抗菌・抗ウイルス性能を付与した床・壁用の資材をトータルに提供することで衛生的な空間づくりにも寄与します。

「ベルビアン」
 店舗・オフィス・ビル向けに展開するデザイン性・耐久性・耐水性に優れた内装材

「ネオグリーン」
 消臭機能があり、汚れがつきにくく、かつ除去しやすいトイレ・屋内施設用床材

抗ウイルス
 ウイルスを
 99%以上低減

壁:ベルビアン
 床:ネオグリーン

*ISO21702(プラスチック及びその他の非多孔質表面の抗ウイルス活性の測定)準拠。サンプル表面(5cm×5cm)にウイルス液を滴下し、ポリエチレンフィルムをかぶせ、25℃で24時間保存後のウイルス感染価を測定。

*すべてのウイルスに効果があるわけではありません。

*抗ウイルスの効果は、製品の表面に付着したウイルスに対して発現するものであり、感染予防を保証するものではありません。

*抗ウイルスの効果は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (受付時間9:00~17:00、土・日・祝日を除く。)
取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
単元株式数	100株
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ
公告方法	電子公告の方法により行います。 但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社オフィシャルホームページアドレス https://www.takiron-ci.co.jp

「充実した人生に良質な職場を、充実した人生を会社の成長の源に」との思いから、2019年に経営の最重要施策として「充実人生 経営宣言」を制定しました。その施策のひとつである「健康増進支援(健康経営)」の一環として実施した喫煙率を下げる取り組みや、社員の健康意識を高める取り組み等が評価され「健康経営優良法人2021*」に認定されました。

引き続き社員一人ひとりの心と身体の健康がすべての基盤であるとの考えのもと、健康経営を推進してまいります。

*健康経営優良法人認定制度により顕彰される優良な健康経営を実践している法人

タキロンシーアイ株式会社

〒108-6031 東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)
 TEL (03)6711-3718

